

事業実績報告書

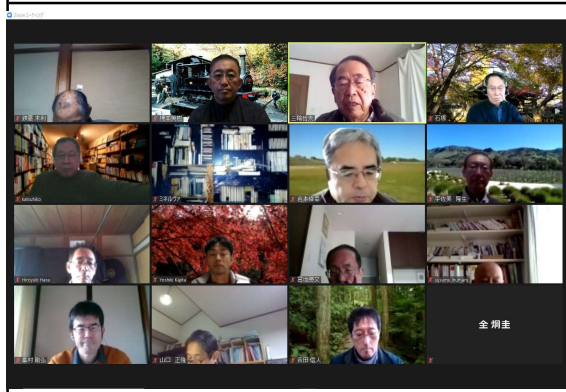
様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

| | | | |
|------|-----------|---------|----------------|
| 講座番号 | B-55 | 講座名 | ごきそテクノカフェ |
| 記載日 | 2021/3/21 | 団体名・企業名 | 名古屋工業大学ごきそ技術士会 |

〈講座全体の概要〉(300字程度)

ごきそテクノカフェは、市民と技術者が環境問題やSDGsを切り口に、気軽に話し合うことのできる場を提供している。2020年度後期のごきそテクノカフェは、コロナ禍の中、2020年前期に引き続き、全6回をzoomを利用したオンライン開催とした。特に10月のオープニングは、名古屋工業大学社会工学科環境都市分野の増田理子教授をお迎えし、生物の進化という切り口から環境問題、コロナ問題についてご講演頂き、対話の場を設けた。10月のみ、名古屋工業大学からの配信で、JR鶴舞駅高架下商店街の喫茶サンデンでのサテライト開催とzoomによるオンライン開催を行った。その後の5回がzoomによるオンライン開催のみであった。



※写真1の説明

※写真2の説明

zoomによるオンライン開催の画面

10月開催の名工大・増田理子教授による講義

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

2020年度前期の7月・9月の開催のオンライン開催においては、通信に問題が出たことや、オンライン特有の質疑応答に関わる問題など、様々なトラブル、不手際があったが、それらの経験が運営者側にノウハウとして身についたことで、後期の全6回はオンライン開催を順調に開催することができた。

これまでの取り組みにより、コロナ禍であっても、オンライン開催により市民の学ぶ場を提供することが実感できた。もちろん工夫もノウハウも必要で、2020年度後期は実施に手応えを感じることができた。また2019年までの対面開催のみのときよりも参加人数が2~3割増えている。

一方で、対面での開催を求める声は依然として強く、コロナ禍が収束したときにはメインを対面開催として、オンラインも併用する形にしたいと考えている。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

身近な話題のコロナウイルスの話の混じえ、わかりやすく説明していただいたと思います。

(10/17) 理解できなかったこともありましたが、多様性にも正負2面性があるという知が得ました。(10/17) 都市鉱山活用に関する議論が有意義であった。(11/21) 都市鉱山の意味が良くわかりました。(11/21) SDGSと都市・地方創成の問題、新型コロナの現状とその影響等広範囲の内容が分かり易く、説明されて大変参考になった。(12/19) アルミ資源に関する動向を知ることができた。(1/16) 水の浄化技術について、状況が把握できた。(2/20)